



秋穂中学校図書館だより

いきいき図書館

令和 6 年

6月号

感想文課題図書紹介

ノクツドウライオウ：靴ノ往来堂

佐藤まどか 著 あすなろ書房

夏希はシューズデザイナーを夢みる中学生。祖父はオーダーメイド靴店「往来堂」の店主だ。祖父がつくる靴を履いた人たちには、人生を変えるほどのすてきな変化が起こる。それを何度も目の当たりにした夏希は、自分を取り巻く人々の影響を受けながら進路を定めていく。

希望のひとしずく

キース・カラブレーゼ 著
代田亜香子 訳 理論社

オハイオ州の小さな町には、願いを叶えてくれるという井戸がある。中学一年生のライアンは、裕福な家の一人っ子アーネスト、幼なじみのリジーとともに、この井戸の底の入り口を見つける。そこで偶然、クラスメイトや町の人たちのさまざまな願いごとを聞いてしまう。すると、アーネストのなき祖父が屋根裏部屋にしまっておいたものたちが、不思議な縁でそれを必要とする人の手にわたり、奇跡的にその願いがかなっていくのだ。悩みや問題をかかえる人々が、ちょっとしたやさしさで救われていく、希望と愛の物語。

アフリカで、バッグの会社はじめました

寄り道多め仲本千津の進んできた道

江口絵理 著 さ・え・ら書房

人気のバッグ・ブランド「リッチーエブリデイ」を立ち上げた仲本千津さんは、いま注目の「社会起業家」。自分の夢をかなえる仕事を探しつつけた千津さんは、転職先の仕事でアフリカ・ウガンダのシングルマザーたちに出会う。彼女たちの力になれるビジネスはないだろうか。

バッグづくりを通して、アフリカの貧困問題を解決し、女性を勇気づけ、輝かせたい——迷い、遠回りしながら、自分の信じる道を歩んできた仲本千津さんの姿を描く“進路決定”ドキュメンタリー。

本屋大賞もう読んだ？

本屋大賞を受賞した「成瀬は天下を取りにいく」(宮島未奈/著)は、とても人気のある本ですが、続巻の「成



なかなか梅雨入り宣言が出ませんが、梅雨寒のような日があったかと思うと、日中は蒸し暑く、すでに夏本番のような陽気の日も多くなっています。熱中症に注意しましょう。

図書館では、季節ごとにいろいろなテーマの展示コーナーを設けています。今月は「雨の物語」です。雨にも負けず、お気に入りの本と出会えるといいなと思いながら本を選んでみました。

また、課題図書コーナーにも注目してください。それぞれ「めざした方向に向かってがんばる人」が主人公となっています。読んでみてください。

瀬は信じた道をいく」も、とても爽快感にさせてくれる本です。今回は、上位に入賞した本の中から司書のおすすめを紹介します。



水車小屋のネネ

津村記久子/著 毎日新聞出版

18歳と8歳の姉妹がたどり着いた町で出会った、しゃべる鳥〈ネネ〉。ネネは、大型のオウム的一种でもあるヨウム。姉は、母からネグレクトされている妹を助けたい一心で親元から姉妹で逃げ出した。落ち着いた場所で出会ったそば屋の夫婦と、そば粉を挽く水車小屋の見守り役を務めるネネ。彼らとの心温まる暮らしの中で姉妹は成長していく。

ネネに見守られ、変転してゆくいくつもの人生——助け合い支え合う人々の40年を描く長編小説。

雨にも負けず、雨の物語を読もう！

書名	著者等
サッカーボーイズ13歳(雨上がりのグラウンド)	はらだ みずき
レイン	吉野 匠
雨にシュクラン	こまつ あやこ
雨の降る日は学校に行かない	相沢 沙呼
雨ふる本屋	日向 理恵子
雨ふる本屋とうずまき天気	日向 理恵子
雨ふる本屋の雨ふらし	日向 理恵子
雨月・春雨物語(日本の古典物語23)	上田秋成/作
雨月物語	辻 真先/構成
雨月物語	金原 瑞人/訳
雨女とホームラン	吉野 万理子
雨上がり、君が映す空はきっと美しい	汐見 夏衛
天気100不思議	村松 照男
天気を知って備える防災雲図鑑	荒木 健太郎

図書館のウンチク

学校図書館は、学校図書館法で定められたれっきとした図書館です。図書館には館長がいますが、では秋穂中学校の図書館長はだれでしょう？答えは、図書館前の掲示板を見てください。

